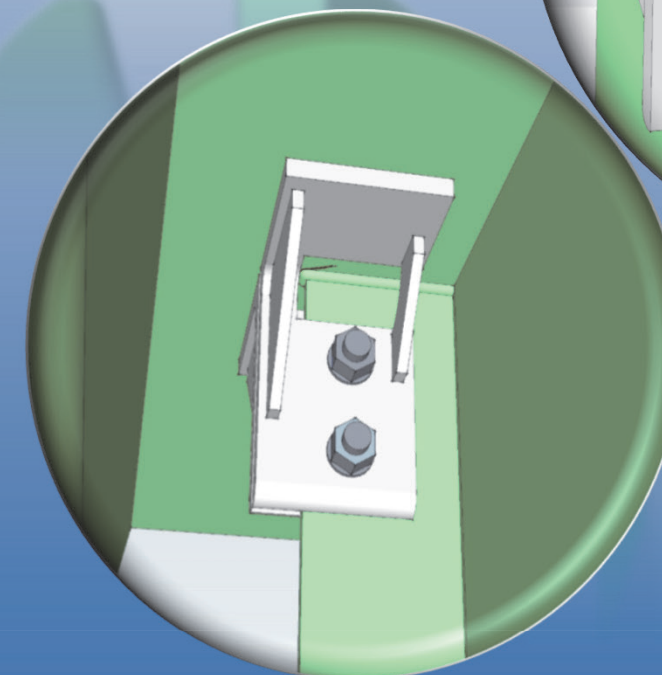
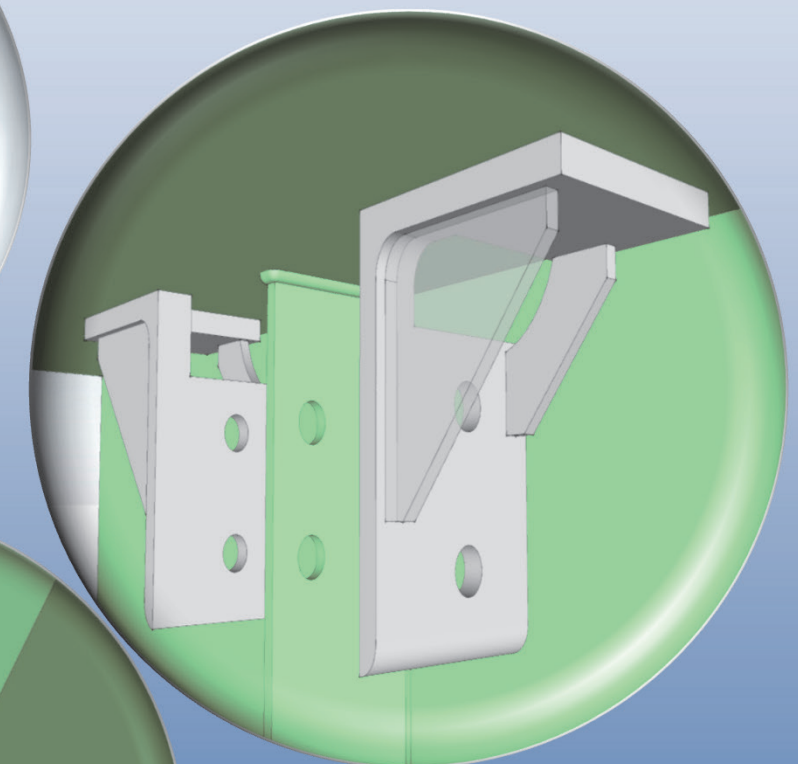
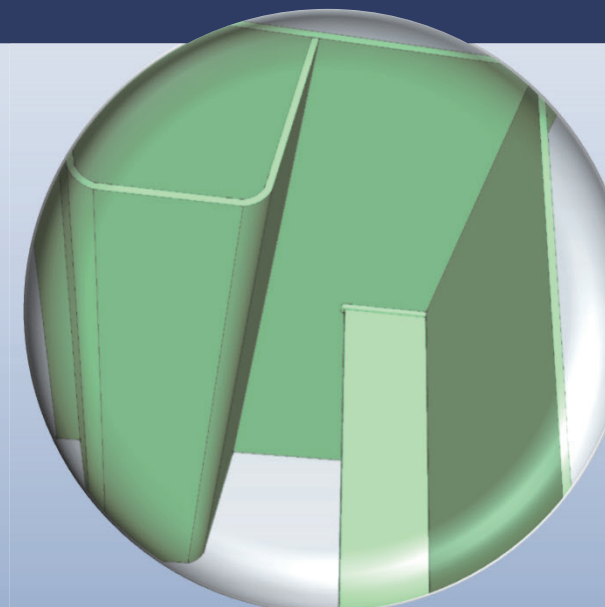


KMリフト工法 のご紹介

- 確実に垂直補剛材のき裂を止めます
- 確実に垂直補剛材のき裂を予防します



2018

特許取得

「鋼構造物における垂直接合部の補修補強方法、及び、垂直接合用補強材」（特許第6386616号）

2018

平成30年度土木学会全国大会 第73回年次学術講演会

- ◆ 支圧接合用高力ボルトを用いた垂直補剛材部の疲労き裂対策，講演番号1-158
- ◆ 支圧接合用高力ボルトを用いた垂直補剛材部の疲労き裂対策の実験的検討，講演番号1-159

2019

構造工学論文集

- ◆ 支圧接合高力ボルトを用いた鋼床版垂直補剛材上端の当て板補強，構造工学論文集Vol.65A（2019年3月）

2019

令和元年度土木学会全国大会 第74回年次学術講演会

- ◆ 鋼床版垂直補剛材上端部当て板補強によるデッキトラフリブ溶接部への影響，講演番号1-213
- ◆ 支圧接合ボルトを用いた垂直補剛材補強と直近トラフリブへの影響，講演番号1-212



川田工業株式会社
KAWADA INDUSTRIES, INC.

【連絡先】 四国工場：香川県仲多度郡多度津町西港町17

☎ 0877-32-5115



MKエンジニアリング株式会社

【連絡先】 東京都世田谷区駒沢2-16-1 サンドー駒沢ビル 6F

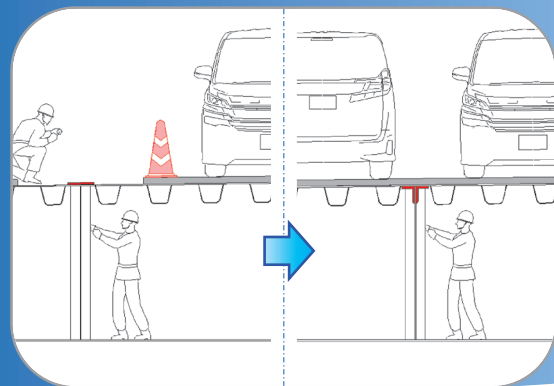
☎ 03-6805-4710

✉ info@mkeng.co.jp

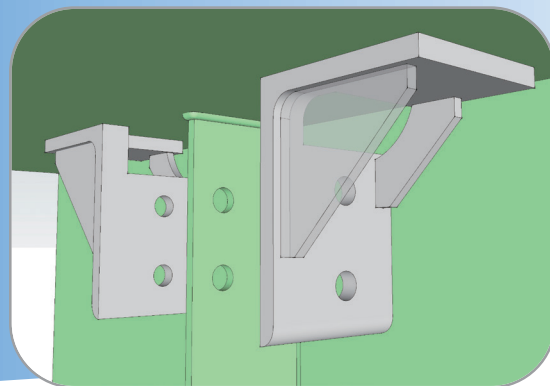
KMリフト工法

鋼床版橋梁の垂直補剛材に発生する
き裂の進展を確実に止め、新規のき裂発生を防止します。

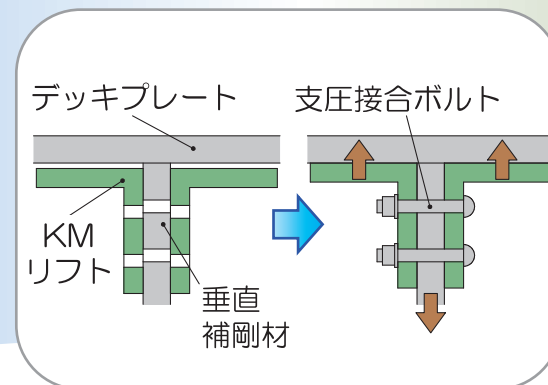
Advantage



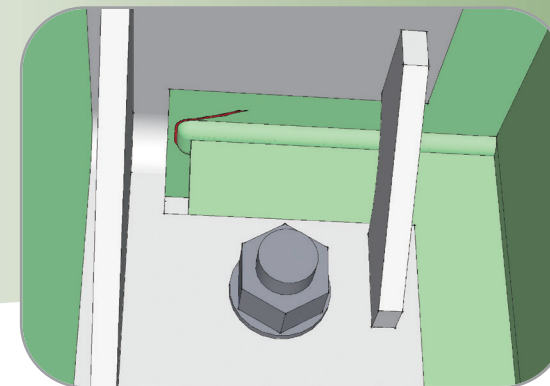
交通の遮断をせず
フランジの剛性をUP



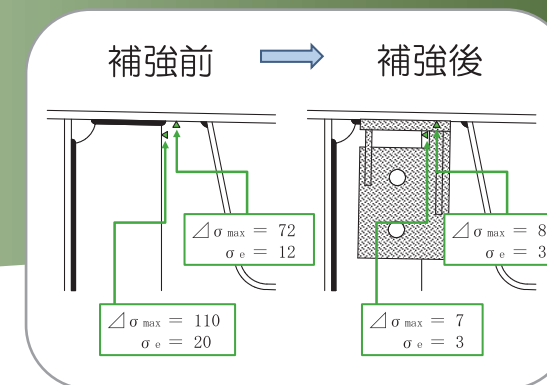
既設構造物の加工は
ボルト孔2か所のみ



ピン効果により、
補強部材をリフトアップ



き裂進展箇所も
モニタリング孔で
状況を確認



高い補強効果で
応力低減効果
最大応力範囲で90%減
等価応力範囲で80%減

Process

1 孔明け治具固定

専用の孔明け治具により、
確実な施工管理を
行います。



2 孔明け

現場での加工は、
2箇所のボルト削孔の
みです。



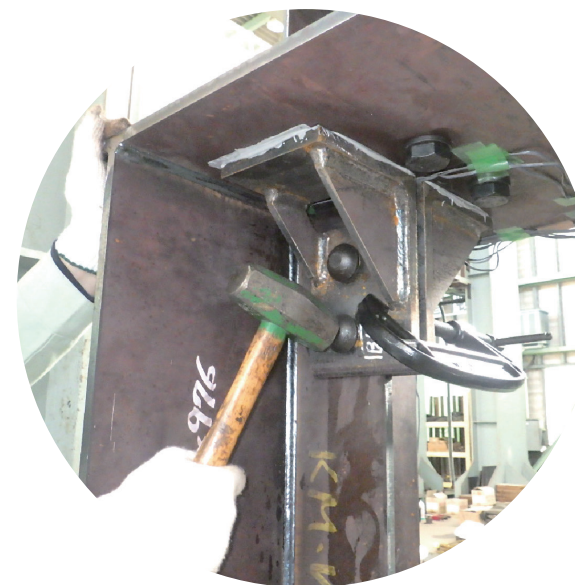
3 接触性向上

表面の不陸と、接触面
の耐久性を保つため、
接触性向上剤を塗布し
ます。



4 KMリフト設置

KMリフトを設置し、
支圧接合ボルトで部材
を密着させ、剛性を向
上させます。



5 ボルト締め付

ボルトを締め付けて、
施工完了です。

